

新規事業採択時評価結果（平成31年度新規事業化箇所）

担当課：道路局 国道・技術課  
 担当課長名：東川 直正

事業の概要

事業名	一般国道188号 藤生長野バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中国地方整備局
起終点	自：山口県岩国市藤生町 至：山口県岩国市長野	延長	7.6 km		
<p><b>事業概要</b></p> <p>一般国道188号は山口県岩国市から山口県下松市に至る延長約72kmの主要幹線道路である。                  一般国道188号藤生長野バイパスは、岩国大竹道路、岩国南バイパスと一体となって岩国市の南北道路ネットワークの一部を形成する、岩国市藤生町から岩国市長野に至る延長7.6kmの道路である。</p>					
<p><b>事業の目的、必要性</b></p> <p>一般国道188号藤生長野バイパスは、産業振興を支援するネットワークの強化、交通の円滑化、交通安全の確保、災害時に強いネットワークの確保に寄与するものである。</p>					
全体事業費	約320億円	計画交通量	約10,600～16,200台/日		
<p><b>事業概要図</b></p>					

**関係する地方公共団体等の意見**

【山口県知事】  
 「一般国道188号 藤生長野バイパス」を予算化することについて同意します。  
 当該区間の整備により、並行現道の渋滞緩和や事故減少、荒天時の通行規制区間の回避が図られ、臨海部の工業団地と高速道路や重要港湾岩国港とのアクセス向上、岩国市南部方面と第3次医療機関である岩国医療センターとのアクセス向上など、物流の効率化や安心・安全の確保が期待され、その早期整備は地元の悲願です。  
 山口県としては、当該道路の整備効果を早期かつ確実に発現させるため、地元岩国市と連携して、事業の円滑な推進に向けた環境整備に努めるとともに、地域の利便性向上に資するアクセス道路の検討・整備に取り組んでまいります。  
 つきましては、「一般国道188号 藤生長野バイパス」を平成31年度の新規事業として予算化していただきますようお願いいたします。  
 なお、幹線交通と域内交通などの利用形態を考慮し、並行する現道区間等の今後の管理のあり方については、貴省及び関係市町とともに議論を重ねていきたいと考えております。

**学識経験者等の第三者委員会の意見**

・新規事業化については妥当である。

**事業採択の前提条件**

費用便益：便益が費用を上回る。  
 手続き等：計画段階評価手続き完了（H30.2.28）、都市計画決定手続き完了（H31.2.19）

事業評価結果

費用便益分析	B/C	1.6	総費用 246億円 （事業費：229億円 維持管理費：17億円）	総便益 383億円 （走行時間短縮便益：354億円 走行経費減少便益：26億円 交通事故減少便益：2.6億円）	基準年 平成30年
	感度分析の結果	交通量変動	B/C= 1.2 (交通量 -10%)	B/C= 1.9 (交通量 +10%)	
		事業費変動	B/C= 1.4 (事業費 +10%)	B/C= 1.7 (事業費 -10%)	
	事業期間変	B/C= 1.4 (事業期間 +20%)	B/C= 1.7 (事業期間 -20%)		
事業の影響	自動車や歩行者への影響	評価項目	評価	根拠	
		渋滞対策	◎	・バイパスの整備により、現道と合わせた交通容量が拡大し、渋滞の緩和が期待される。 ・当該区間では主要渋滞箇所が3ヶ所存在しており、通勤時間帯に3kmを超える渋滞が発生しており、交通の円滑化が必要。 【混雑度の改善】現況：1.35 → 整備後：0.89（約3割減少）	
		事故対策	◎	・混在していた生活交通と通過交通が分離され、安全で円滑な走行環境が形成される。 ・当該区間では全国平均死傷事故率（68.3件/億台キロ）を上回る箇所が藤生交差点を始め、多数存在しており、交通安全の確保が必要。 【死傷事故件数の減少】現況：55件/年 → 整備後：39件/年（16件/年〔約3割減少〕）	
		歩行空間	-	注目すべき影響はない	
	社会全体への影響	住民生活	◎	・第三次救急医療機関までの輸送時間が短縮 【由宇総合支所から岩国医療センターまでの所要時間】 現況：17分 → 整備後：15分（約2分短縮）	
		地域経済	◎	・地域の主産業である製造業において速達性の高い輸送道路ネットワークの形成が図られ、時間短縮、定時性確保などにより、産業振興が期待される。 【通津沖工業団地～岩国ICにおける所要時間】 現況：41分 → 整備後：33分（約8分短縮）	
		災害	◎	・代替路の確保によって、通行止めになった場合の地域経済活動及び住民生活への影響を最小限にとどめることが期待される。 ・当該区間では越波により過去20年で4回の全面通行止めが発生しており、災害時に強いネットワークの確保が必要。 【由宇地区～岩国市中心部 災害時の迂回ルート】 現況：70分 → 整備後：24分（約46分短縮）	
環境		-	注目すべき影響はない		
	地域社会	-	注目すべき影響はない		
事業実施環境	◎	・都市計画決定手続き完了（H31.2.19） ・山口県知事等より早期事業化を要望			

**採択の理由**

費用便益比が1.6と便益が費用を上回っているとともに、都市計画決定手続きが完了し、事業採択の前提条件が確認できる。  
 また、当該区間の整備により産業振興を支援するネットワークの強化や交通の円滑化、交通安全の確保、災害時に強いネットワークの確保が期待でき、事業の必要性・効果は高いと判断できる。  
 以上より、本事業の新規事業化については妥当である。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。

## 新規事業採択時評価結果（平成31年度新規事業化箇所）

### 事業評価結果（防災機能）

事業の必要性		
<p>現道の通行止め時に機能するネットワーク（代替性）の確保や救急医療の速達性確保による安全・安心の向上、広域的なネットワーク形成による地域産業の活性化に寄与するものである。</p>		
評価項目	地域の課題	関連する計画
救助活動等	<ul style="list-style-type: none"> <li>当該区間は、越波による事前通行規制区間や津波浸水想定区域が存在し、通行止め時には大幅な迂回を強いられるため、地域への緊急物資の円滑な輸送に支障となる恐れ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※中国圏広域地方計画（H28.3）                             <ul style="list-style-type: none"> <li>大規模地震災害に対し、圏域内の道路・橋りょうや港湾施設等の社会資本の耐震化を強力に進め、強靱な交通・物流ルートを形成する。</li> </ul> </li> <li>※山口県国土強靱化計画（H28.3）                             <ul style="list-style-type: none"> <li>災害時にも機能する信頼性の高い道路ネットワークを構築するため、地域の課題や利用者ニーズを踏まえながら、山陰道や地域高規格道路をはじめとした幹線道路や、身近な生活道路の整備を推進する。</li> </ul> </li> </ul>
住民生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>第三次救急医療機関が存在しない柳井地区広域消防組合では、岩国市の岩国医療センターへの搬送が年間300件以上ある。（H25:236件→H28:314件）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※中国圏広域地方計画（H28.3）                             <ul style="list-style-type: none"> <li>高次医療施設へのアクセス向上に資する道路の整備を図るとともに、ドクターヘリの導入による救急対応等、広域連携による医療機能の充実を図る。</li> </ul> </li> <li>※元気創出やまぐち！未来開拓チャレンジプラン（H27.3）                             <ul style="list-style-type: none"> <li>災害支援活動の円滑化を図る、山陰道や地域高規格道路をはじめとした幹線道路の整備。</li> </ul> </li> </ul>
地域経済 地域社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>当該区間の終点部付近には自動車産業を始めとする工場が集約された工業団地が立地しているものの、速達性・定時制の高い道路ネットワークが形成されていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※中国圏広域地方計画（H28.3）                             <ul style="list-style-type: none"> <li>整備された高速道路網等を活用し、物流の効率化や地域間の産業連携を進めることで、産業競争力の強化を図る。</li> </ul> </li> </ul>
その他		

事業の有効性									
<ul style="list-style-type: none"> <li>当該事業の実施により、主要拠点間のリンクの評価に変化はないものの、不通リンクの解消によりネットワーク全体の防災機能が強化される。</li> <li>また、本事業において、災害時にも機能する信頼性の高い道路ネットワークが形成されるとともに、渋滞緩和による物流の効率化、走行安全性の向上に寄与するなど有効性の高い事業と評価する。</li> </ul>									
道路ネットワークの 防災機能	主な区間		改善ペア数	脆弱度 （防災機能ランク）		累積脆弱度の 変化量	改善度		評価
				整備前	整備後		通常時	災害時	
	周東総合病院	岩国医療センター	1	1.00 [D]	1.00 [D]	▲2.63	0.01	0.00	○

事業の効率性
<ul style="list-style-type: none"> <li>都市計画決定手続き完了（H31.2.19）</li> </ul>